

エントランスアクセサリーのデザイン開発

水野 潤 長谷川恵子 宮田昌俊 今西千恵子

Design of Entrance Accessories

Jun MIZUNO, Keiko HASEGAWA, Masatoshi MIYATA and Chieko IMANISHI

マイホーム取得後のエクステリア用品市場をターゲットとして、陶磁器と他素材を組み合わせ、門、玄関、アプローチなどのエントランスを演出する新規性のある商品のデザイン開発を行った。

住宅が洋風化していることなど情報収集の結果を踏まえ、「季節感」や「光による演出」「機能性」などをテーマに設定した。

今日の生活の中で見失いがちな季節感や自然感覚を演出する小道具としてクリスマスリースやカワセミをモチーフにしたブランクをデザインし、試作を行った。ブランクには大小2種類の陶器製アルファベットを張り付けて名前や住所などの表示を行った。

和風住宅向けの鎖とい（雨どい）2タイプ、また、正月の門や玄関を彩る門松形花器をデザインし、レンジリングを作成した。

門から玄関までのアプローチに設置して楽しく愛嬌たっぷりにお客を迎えるアプローチライトをデザインした。モチーフはアヒル、イルカ、モグラなど5種類とした。

オープンなエントランスを持つ住宅用に、照明器具、プランター、ポスト、サインボードなどを自由に選択し構成できるシステムポールをデザインし試作を行った。

1. はじめに

瀬戸地区のノベルティ製造企業にあっては為替レートの急激な変化により、輸出向け商品の生産は大幅に落ち込んでいる。そのため国内向け商品への転換が迫られているが、国内消費市場においても家庭内にモノが溢れているのに加え、海外を含めた他の陶磁器産地との競争も激化している状況にあっては、新規に国内市場に参入するのも容易ではない。

これらを踏まえて、本研究ではここ数年来住宅着工件数が好調に推移していることに注目し、住宅を取得した後に生ずるアフターマーケットとしてのエクステリア関連のハウスウェアに的を絞ってデザイン開発を行った。

平成6年度は庭を演出するガーデンアクセサリーのデザイン開発を行ったが、本年度は門から玄関までのエントランス周辺を演出する新規性のある陶磁器製アクセサリーの開発を目指した。

アイデアを展開するにあたり、瀬戸地区ノベルティ製造企業が長年培ってきた排泥鋳込成形技術を生かしながら、木材、金属などの他素材や照明器具などを有効に組み合わせ、より新規性や付加価値のあるデザインになるように留意した。

2. デザイン

最近の個人住宅の傾向を把握するため、分譲住宅地や既存の住宅地及び住宅展示場、カタログ、建築・インテリア雑誌等の出版物等から情報を収集した結果、アメリカやカナダからの輸入住宅の増加に見られるように、洋風化の傾向が一層強まっていることが分かった。また、子供達の誕生会や親しい人達を招待してのホームパーティなどが集まる機会も増えてきている。さらに、今日の生活の中では食材を始め、季節感が稀薄になってきており、年間を通した生活にリズムや節目が必要だと考える人が増えてきている。これらのことを踏まえて、ブランク、ドアベル、アプローチライト、システムポールなどにアイテムを絞り込み、アイデアの展開を行い、手描きに加えて3次元CADによるレンジリングを作成した。

2. 1 ドアベル

ドアの上部に取り付けて、ドアの開閉を音で知らせるベル。写真1はモチーフをホルンからとり、中央に吊り下げた楽譜が揺れホルンにあたって音を出す仕組みである。写真2はオニオン形を4個重ねて、それらが触れて音を出す。落ち着いた音色と複雑な鳴り方を狙いとした。いづれも短冊をつければ、風鈴に転用可能である。

2. 2 鎖とい

鎖といは玄関などの軒先に吊し、雨どいの水を排水口へ導くものである。カップ状のユニットを縦に連結したもので、陶磁器の新しい用途の開拓を狙った。写真3は呉須による染付け加飾を施したもので、和風住宅向けのデザインとした。写真4は赤茶色の土味を活かしたテラコッタタイプで、和風住宅だけではなく、洋風の住宅にもマッチすることを狙った。このレンダリングでは無加飾であるが、レリーフや透かしなどの装飾によるバリエーションも可能である。

2. 3 門松形花器

写真5は正月の玄関を華やかに彩る門松形の花器である。花や実の付いた草花を生け、背面に設けた穴を使い玄関脇の壁面に掛けることができるようにした。また、独立して靴箱やテーブルの上に置くことも可能である。

2. 4 ブラーク

写真6はクリスマスアイテムとして最近関心が高まってきているリースをモチーフにしたブラークである。雪の積もったログキャビン、青々としたアイビーで取り囲み、上部にはメッセージやサインが入れられるスペースを設けてある。

写真7は、クリスマスリースと同じドーナツ形をしたブラークで、涼しげなライトブルーのリボンと睡蓮をモチーフに夏向けにデザインした。様々な季節をテーマにしたブラークは床の間に季節にあった掛け軸を飾ると同様に生活に適当なリズムを提供してくれる。写真8は、愛嬌ある大きなくちばしと美しい色で人気のあるカワセミをモチーフにしたブラークである。金色のワイヤーを用いて壁面に吊り下げ、サインボードには各種の切り文字をはってメッセージとすることができるデザインとした。

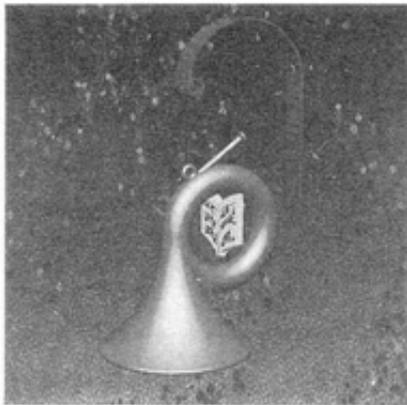


写真1 ホルン形ドアベル

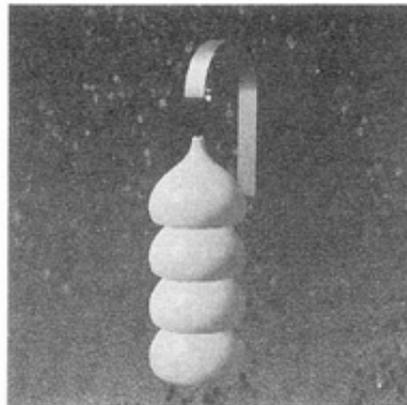


写真2 オニオン形ドアベル

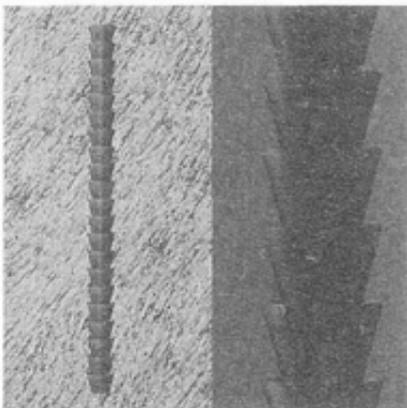


写真3 染め付け鎖とい

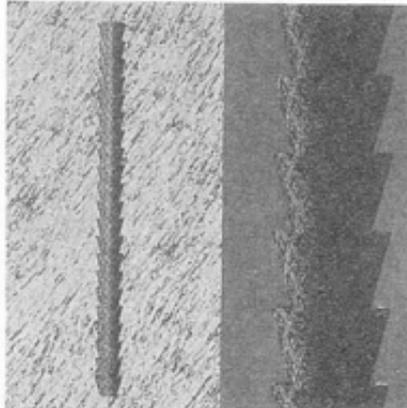


写真4 テラコッタ鎖とい

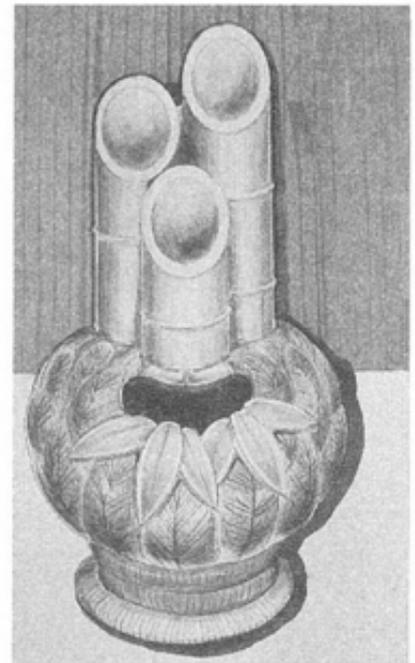


写真5 門松形花器



写真6 クリスマスリース形ブラーク



写真7 睡蓮形ブラーク

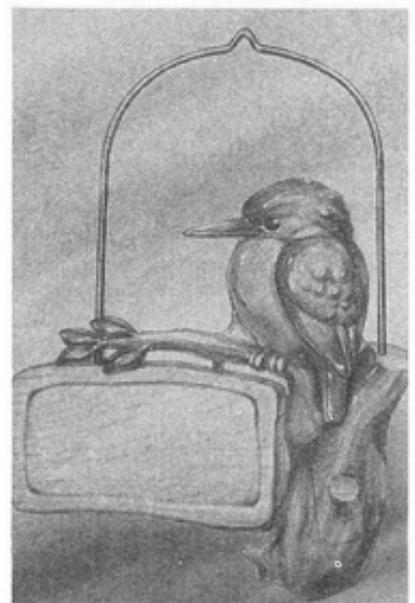


写真8 カワセミ形ブラーク

2. 5 アプローチランプ

ホームパーティや誕生会などお客を招いた時、アプローチランプは門から玄関までのフロントヤードやアプローチに沿って連続的に設置し、リズムカルに、楽しく、表情豊かにお客を誘導するアクセントランプである。設置は地面や芝生の上に置くだけで、特別な器具や工事は必要ない。

写真9は大小の立方体を並べた構成で、洋風住宅に合うシンプルなデザイン。

写真10は表面に自然石の凹凸や色彩を施し、昼間は単なる石ころが夜になると光っているという面白さを狙ったデザインである。

写真11はイルカをモチーフとしたデザイン。地面を海面に見立てて、しっぽだけ出しているイルカと顔を出しているイルカで、楽しく遊んでいる様子を表現した。

写真12はヘルメットを被った愉快な顔をした土木作業員モグラがトンネルを掘り進み、やっと地表に顔を出した時の様子を表現したランプである。

写真13はほのぼのとしたアヒルの親子。母親の後をよちよち付いて歩く雛と後ろの雛を横目で見ながら先導する優しいお母さんアヒルをセットにしたランプである。お父さんアヒルや雛の兄弟を追加して、“アヒル一家のピクニック”風景に発展させてもおもしろい。

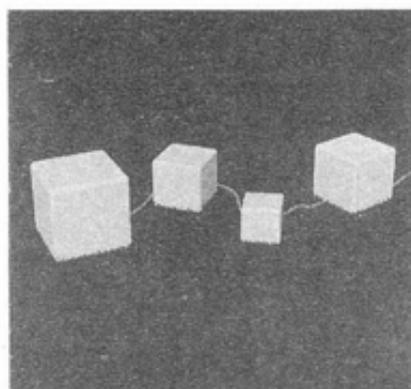


写真9 サイコロ形アプローチランプ

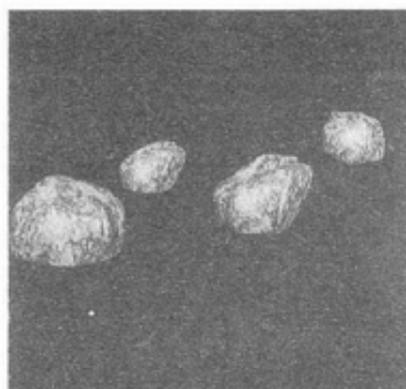


写真10 石ころ形アプローチランプ

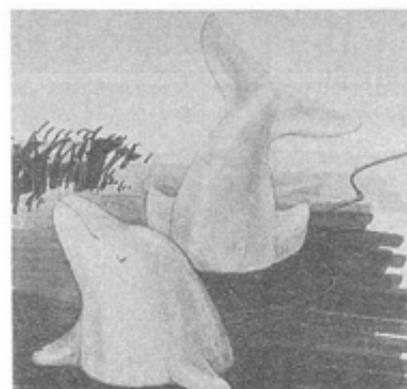


写真11 イルカ形アプローチランプ

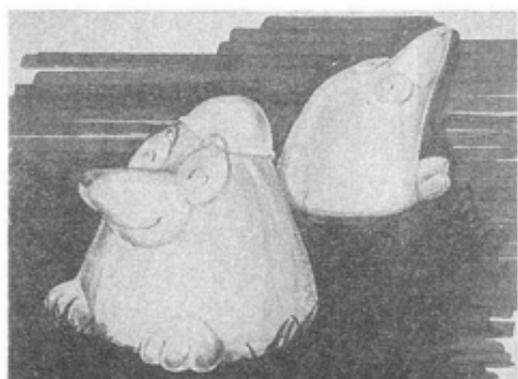


写真12 モグラ形アプローチランプ

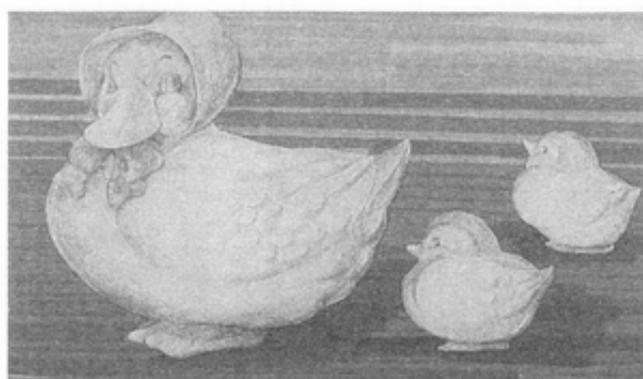


写真13 アヒル形アプローチランプ

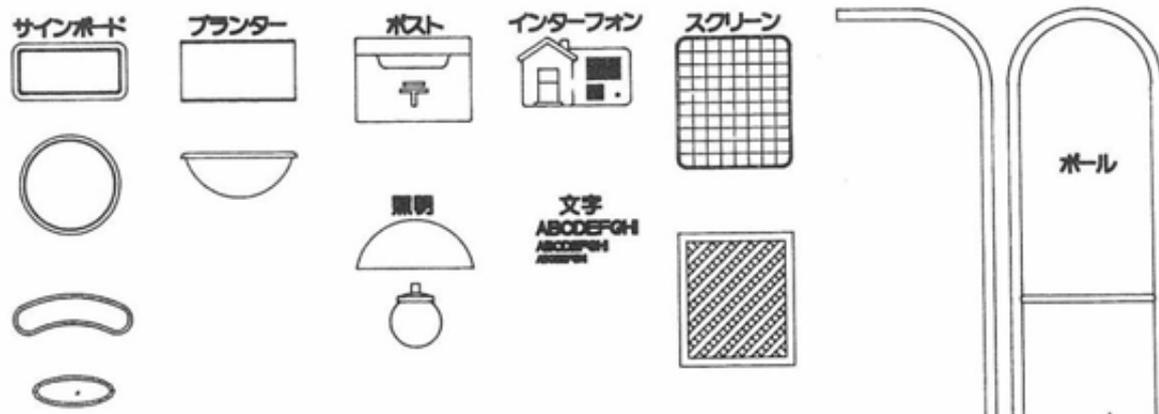


図1 システムポール構成図

2. 6 システムボール

今までの住宅の外構では、周囲に塀を巡らし、石かタイルを貼った門柱にアルミ製の門扉といった構成が一般的であった。しかし、最近は、塀をなくしたり、背を低くしたり、あるいはラティスフェンスを用いるなど、開放的な外構を持つ家が増えている。これはアメリカの住宅の影響によると考えられるが、他の要因として、市街地では敷地面積が狭い住宅も多く、パーキングスペースを除くと塀を設ける場所が少ないことも挙げられるであろう。このような傾向を背景としてシステムボールのデザインを行った。システムボールはスチールパイプ製のボールに種々の用途別パーツを取り付け、構成する新しいタイプの門柱である。

構成するパーツは図1のとおり、基本になるボールを中心に、照明器具、プランター、サインボード、インターホン、ポストなどがある。これらの組み合わせ例を写真14~16に示す。このシステムは、本来、一般家庭用としてデザインを行ったものであるが、小規模なレストランや喫茶店などのサインボールとしても使用可能である。

3. 試作

作成したレンダリング中から、リース形ブラック4種類、カワセミブラック2種類、モグラアブローチライト2種類とシステムボールの試作を行った。試作データを表1に示す。

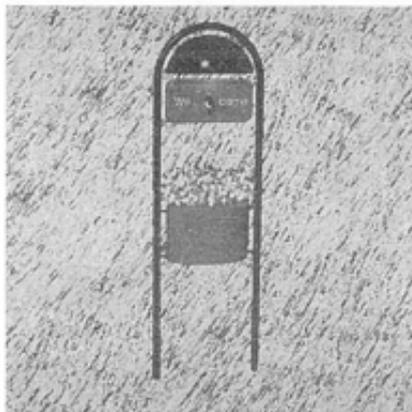


写真14 システムボール構成A

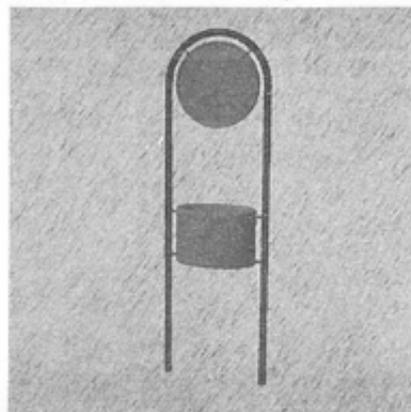


写真15 システムボール構成B

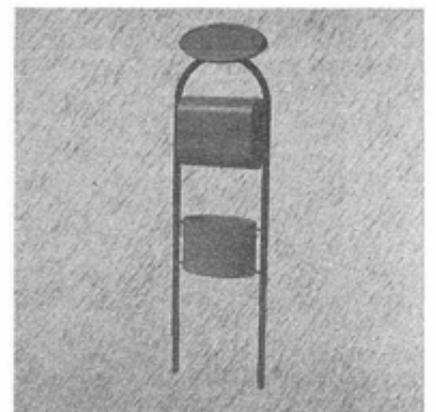


写真16 システムボール構成C

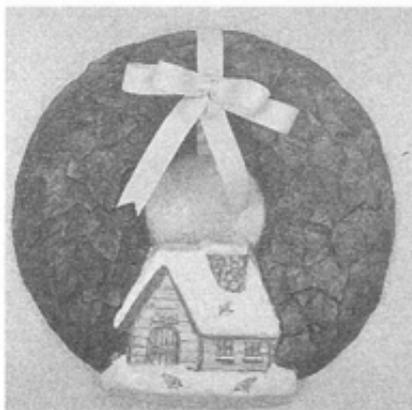


写真17 クリスマスリース形ブラックA



写真18 クリスマスリース形ブラックB



写真19 クリスマスリース形ブラックC

表1 試作データ

品名	寸法 (mm)	素地	成形	焼成	加飾ほか
ブラック	クリスマスリース	φ220×30	磁器 排泥鋳込み	1280℃ 酸化	彩色 100V 10W (照明付きタイプ)
	カワセミA	426×198			真鍮、木、セラミック文字、彩色
	カワセミB	253×323			木、セラミック文字、彩色
アブローチライト	モグラA	140×120×150	白磁	1280℃ 還元	一部上絵 100V 10W
	モグラB	135×140×155			
システムボール	ボール	500×1600	珧器 型おこし	1100℃ 酸化	スチールパイプ
	ライト	370×140×260			12V 20W×2灯、降圧トランス
	サインボード	370×220			レリーフ、彩色
	プランター	370×160×280			

3. 1 ブラーク

写真17~19はリース形ブラークである。アイビーの葉に通常の緑色と紅葉した赤茶色、斑入りなどの彩色を施し作製した。試作品は上部にリボンをあしらってクリスマスの雰囲気盛り上げるようにしたり、一輪挿しとなるタイプや、ドアや窓をくりぬき、内部に電球を組み込んでウォールランプタイプなどのバリエーションを設けた。写真20、21はカワセミをモチーフにしたブラークである。アーチ状の金属棒で吊すタイプとフックにより直接壁に掛けるタイプの2種類を作製した。いずれも木製のボードにセラミック文字を作製して張り付け、名前や住所などサイン表示を行った。



写真20 カワセミ形ブラークA

3. 2 アプローチランプ

写真22はモグラ形アプローチランプである。ヘルメットを被り、メガネをかけて地面から顔を出しているモグラにスコップを持たせて愛嬌を出した。土やヘルメット、目などに彩色を施したタイプと素地のままで彩色なしのものとの2タイプを作製した。写真23は夜間点灯した時の状態である。

3. 3 システムボール

写真24に示すように、システムボールは半楕円形球の傘を持つ照明と楕円柱形プランター、犬をモチーフにしたウェルカムボードの組み合わせで試作した。また、夜間の点灯時の状態を写真25に示す。



写真21 カワセミ形ブラークB

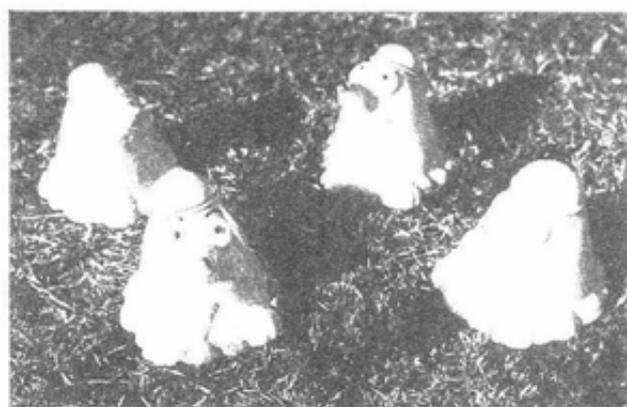


写真22 モグラ形アプローチランプ

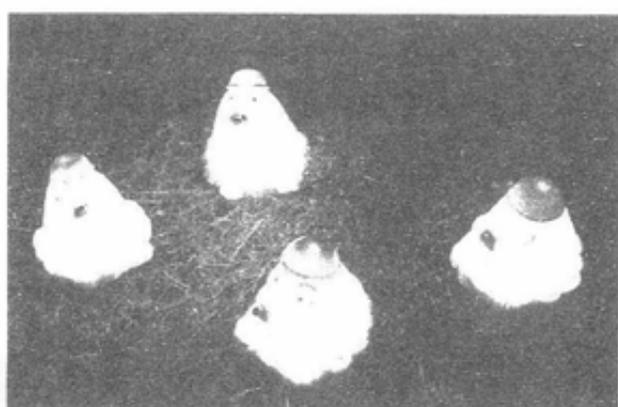


写真23 モグラ形アプローチランプ

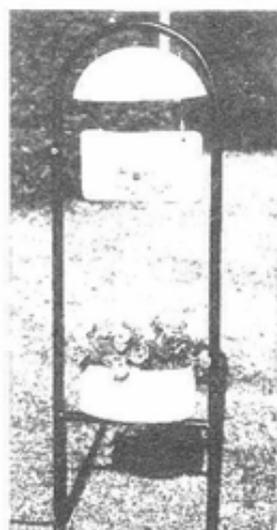


写真24 システムボール



写真25 システムボール